

特集：せいめい望遠鏡 (1)			
	せいめい—京大岡山 3.8 m 望遠鏡プロジェクト	長田哲也	257
	軽量の望遠鏡	栗田光樹夫	261
	せいめい望遠鏡の分割鏡制御	木野勝	268
Z45 特集 (3)	Z45 による TMC-1 高密度コアの CCS ゼーマン分裂の検出	楠根貴成	274
	7 mm 帯電波観測の究極の受信機作り：eQ 受信機計画の概要	章朝盛	281
天球儀	キャリアパス調査の結果報告 —第 24 期日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会より—	奥村幸子・生田ちさと	289
シリーズ：天文学者たちの昭和			
	海部宣男氏ロングインタビュー 第 13 回：深くて広い欲を持って	高橋慶太郎	299
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>From Stars to Planets II: Connecting our understanding of star and planet formation</i>	森昇志	315
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Asia Oceania Geoscience Society 16th Annual Meeting</i>	金子岳史	316
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>36th International Cosmic Ray Conference (ICRC2019)</i>	横山将汰	317
月報だより			319

【表紙画像説明】

2019 年 2 月 28 日にせいめい望遠鏡での初めての科学観測を行いました。この時はエッジセンサを用いた分割鏡制御がまだ動作しておらず、分光器で 1 回積分するごとに分割鏡の再調整が必要な状態で、各自が担当する機器にひたすらコマンドを打ち込んで観測を行いました。

その後 3 月 12 日には 18 枚全ての鏡を制御することで長時間の連続観測を達成し、3 月 22 日から共同利用を開始しました。

【表紙デザイン】

科学実験機器。ラカイユ南天の星座より。イタリアのトリチェリが初めて発見した「真空」は、近代科学の誕生と展開に大きく関わる。発見以後、各国の物理学者たちは、真空状態を人工的に作るための排気の道具を考案、開発。「真空ポンプ」をモチーフにした創作切り絵。

The constellation Antlia, the air pump, is located in the southern hemisphere. The vacuum air pump was a major scientific instrument invented in the 17th century.